

# 速報

# 飛島 第15回 TOBISHIMA CLEAN-UP 作戦 クリーンアップ

風薫る5月、みんなの“思い”を結集し、荒崎海岸で大奮闘！

豊かな自然に恵まれ絶好の観光スポットとなっている山形県唯一の離島「飛島」。一方、離島であることで漂着ゴミも流れ着きやすく、その処理も難しくなっている。この課題を解決しようと始まった飛島クリーンアップ作戦も回を重ね、今年が第15回目。5月30日(土)に24時間テレビチャリティ委員会などの協賛・協力のもと、官民産学の多様な協働で清掃活動が行われた。

今年の清掃箇所は、荒崎海岸。スカシユリとトビシマカンゾウが一面に広がる、『日本の渚百選』にも選ばれ多くの人を訪れる場所である。荒崎海岸での実施は第12回以来となる。

島の中央を走る農免道路から遊歩道に入り、荒崎海岸に下っていくと、それまでの美しい原風景には不似合いな漂着ゴミが帯をなしている。

庄内地域はもとより、県内内陸部、飛島と交流がある新潟県粟島、遠くは東京都から篤い志をもって集まった参加者200名が、島民40名とともに、早速、作業にとりかかった。参加者の思いは一つ、熱意に火が点く。



荒崎海岸は遠浅で船をつけるのが難しいため、回収したゴミは車が入るところまで、バケツリレーで搬送した。2ヶ所の中継地点を設けた、3回のリレーはその距離280メートル。集めたゴミはトンパック24袋、推定で約3.8トンとなった。

清掃終了後、参加者は漁協女性部の皆さんが準備してくれた、アラメの煮物、イカ焼き、ギバサの味噌汁といった飛島の料理に舌鼓を打った。

5月最後の土曜日。今年もまた、飛島からさわやかな風が吹いた。

## 【参加者の声】

- 細かいゴミが多くて、本当にきれいな海岸を目指すにはつくづく大変だと実感した。お昼のお弁当はとってもおいしかった。(20代男性)
- 青い海、さわやかな風の中でのクリーンアップ作戦は、大変気持ちよく参加できました。(40代女性)
- 漂流ゴミが海岸に付着していることは知っていたが、今回クリーンアップ作戦に参加し、ゴミのマイクロチップ化している現実を目の当たりにし、その回収不能となる危険性を改めて認識しました。(50代女性)
- 大好きな海、海岸をきれいに出来てよかった。(40代男性)

●この事業は「24時間テレビ・山形放送」の協賛を受けて実施されました●

## ●実行委員会構成団体●

NPO法人庄内海浜美化ボランティア  
NPO法人パートナーシップオフィス  
NPO法人美しい庄内  
一般社団法人山形県産業廃棄物協会  
藻場再生研究クラブ  
東北公益文科大学  
飛島コミュニティ振興会  
海上保安庁酒田海上保安部  
とびしま漁村文化研究会  
合同会社とびしま  
山形県庄内総合支庁  
酒田市

## ●協賛●

山形放送株式会社  
公益社団法人24時間テレビチャリティ委員会

## ●協力●

公益社団法人東北海事広報協会  
株式会社みなど

# 海ごみのこと、もっと知りたくなったあなたに・・・

## ちょっぴり耳よりな Q & A

**Q** 海岸清掃ボランティア、イベントにもっと参加したくなったけど、何を見たら分かる？

**A** 下記サイトに、随時、情報掲載しています。ご応募、お待ちしております。  
美しいやまがたの海プラットフォームが運営する川と海のごみ問題を学ぶウェブページ



海岸には、  
いろいろなごみが漂着します。  
**カワカラ・ウミカラ**  
©美しいやまがたの海プラットフォーム

カワカラ・ウミカラ URL : <http://yamagatapf.info>

**Q** 周りの人にも、海ごみのこともっと知ってもらいたいけど、どうしたらうまく説明できる？

**A** 海ごみの問題を学ぶ出前講座を受け付けています  
(対象県内)。講師派遣にかかる経費(謝金・交通費)は無料です。詳細は、上記サイトから、「海ごみ研修・受付中」をクリックしてご覧ください。

**A** 酒田海洋センターでも海のごみ問題を説明する解説員が以下の通り常駐しています。

■期間：4月下旬～3月上旬の土・日曜、祝日

■時間：10時～14時

■場所：酒田海洋センター3階 講堂

**Q** 内陸の人にも、海ごみのことに関心を持ってほしいけど、さりげなく知ってもらう良い方法はない？

**A** イオンモール山形南で、海岸漂着物展示会「くらしのかけら展」を下記のとおり開催します。買い物がてら、お気軽にお立ち寄りください。

■期間：6月26日(金)～6月28日(日)

■時間：10時～17時(最終日16時)

